



生徒代表 田村 華穂

桜の花びらが風に揺られ、少し大きな制服に袖を通し、2019年4月、私たちはこの愛宕中学校に入学しました。入学当初は緊張と不安を抱え毎日を過ごしていたはずが、いつの間にか今は最高学年となり、愛宕中学校での学校生活、最後の1年を送っています。

温かく優しい生徒のみんな、生徒一人一人と真剣に向き合い指導してくださる先生方、一番近くで毎日見守ってくれたお父さんお母さん、私たちの安全を第一に考えてくださり、毎朝笑顔で見送ってくださった地域の方々、多くの方の支えにより、この愛宕中学校で安心して学校生活を送れたことに感謝しています。

私は日々の学校生活や部活動、生徒会活動など様々な場面で多くのことを学びました。最後まで自分の役割をやり遂げることができ、自分自身が成長できたのは、自分の力だけでなく、これも多くの方の支えがあったからこそだと感じています。

愛宕中学校の良いところは、校長先生がよくお話しされていた、積極的に自ら考え行動する「自律」の姿勢、学年目標でもあった当たり前のことを当たり前に行うことができること、あいさつが素晴らしく、仲間と協力し大きなことを成し遂げることだと思います。愛宕中学校の目指す生徒像である「あかるく じしんをもって さわやかに いきいきと」の「あじさい生徒」がたくさんいたことが私の誇りです。

今年度をもって、「龍ヶ崎市立愛宕中学校」は閉校となってしまいますが、創立してから61年間多くの人に支えられ、新型コロナウイルスの影響がある中でも、築かれてきた愛宕中学校の伝統と共に幕が閉じられることを誇りに思います。

愛宕中学校で築かれた伝統が次の「龍ヶ崎中学校」でも受け継がれ、愛される学校となること、皆さんの心の中で愛宕中学校の思い出や歴史が残り続けることを祈念し、閉校の言葉とさせていただきます。愛宕中学校、ありがとうございました。



P T A 代表 梶山 真

龍ヶ崎市立愛宕中学校の閉校にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

龍ヶ崎市立愛宕中学校は昭和36年に竜ヶ崎中学校の一部と馴柴中学校、昭和40年に八原中学校と統合し、龍ヶ崎市立愛宕中学校として開校しました。しかしながら、本年度末をもって、61年間の長い歴史に幕を下ろすこととなります。

これまで歴史と伝統を築きあげてこられた歴代の校長先生並びに教職員の皆様をはじめ、本校にかかわっていただいたすべての皆様の教育に対する熱い思いと、たゆまぬ努力に対し深く感謝と敬意を表しますとともに、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に対しまして厚く御礼を申し上げます。

愛宕中学校は生徒の自立心を養い、仲間とともに、明るく、豊かに力強く生きていく子どもを育成するという目標に向かって、子どもたちに寄り添い、成長を支えてこられました。日々の学校生活、校外学習や近隣の学校や地域との交流行事など、その一つ一つが現在の愛宕中学校の礎となり、子どもたちの豊かな心を育み、人生を生き抜く糧となってきたと考えております。

これまで愛宕中学校から巣立った卒業生の皆様や保護者の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、愛宕中学校の閉校にあたり寂しさの極み、哀惜の念はいかばかりかと拝察いたします。

しかしながら、この学び舎で培われてきたことは、皆様の胸に深く刻み込まれるとともに、今後の龍ヶ崎市の教育に脈々と受け継がれ、新たな歴史と伝統を必ずや創造するものと確信しているところであります。

結びに、今日まで長年にわたる愛宕中学校の活動に、ご尽力賜りました関係各位に対しまして、改めて感謝の意を申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心から御祈念致しまして、閉校に寄せての挨拶とさせていただきます。